

大分県労働者福祉協議会
機関紙 第72号

大分市中央町4-2-5
ソレイユ 6F
☎(097)533-1106
発行人 嶋崎 龍生
2007. 1. 1発行

大分県労働者福祉協議会

會長 嶋崎龍生



大分県労働者福祉協議会に結集する県下会員組織・組合員の皆様あけましておめでとうございます。

旧年中、皆様には労務協活動
に対して温かいご理解と協働を
賜りましたことに厚く御礼申し
上げます。

さて、皆様は2007年を迎えてどのような誓いや願いを立てられましたでしょうか。多くは、「健康」や「仕事」そして「学業」や「就職」など、自分や家族にとつてささやかな夢や希望等であろうと思います。

しかし、その生活を支える我が国の経済情勢に目を転じますと、戦後最長の57カ月に及んだ「いざなぎ景気」を超えて景気回復傾向が持続していると伝えられています。雇用労働者へ

の恩恵は全く見られていません。企業の合理化策による雇用形態の流動化により、賃金の安い雇用の不安定な非正社員が急増し、今やすでに全雇用者数の3割を占めるまでになりました。

加えて、雇用保険料や年金保険料の連続引き上げ、そして定率減税の半減と、矢継ぎ早やに労働者負担が増えていきました。

8年間連続して労働者収入が減り続け、この6年間で年間55万円も減少した現実がその影響の大きさを物語っています。

さらに、悪化指標として一例を挙げますと、この5～6年間で貯蓄ゼロ世帯は12%から24%へ、生活保護世帯は75万世帯から104万世帯へ、そして、給食費からの援助を受ける子どもたちは98万人から134万人に増加しました。

これが、雇用労働者に的を絞る、徹底して「取るところから取る」「弱い者は切り捨てる」政策を推し進めた自民党小泉政権の結果であります。働くということは、あらゆる限りの能力を振り絞って企業や社会に貢献する崇高な行為であるべきなのに、今の政治は労働を単に数としてのみカウントし、汗して働く行為を尊び敬う姿勢は微塵も見受けられません。

私たちは、労働の尊厳を訴え

るとともに環境を整え、さらに補強しなければなりません。

その環境の柱が「福祉」であり、元気に明るく生き働き続けるための「光」でありましよう。ひとりでも多くの仲間福祉という光をあてるために、「助け合い」を原点とする相互福祉の精神を拡げていきたくと願います。

昨年11月、連合大分を中心に
労福協・福祉事業団体との連携
で「ライフサポートセンター」
（仮称）設置に向けた検討委員
会が発足しました。この「ライフ
サポートセンター」（仮称）
は、県下全ての労働者がともに
支え、ともに助け合っていく、
地域単位のワンストップサービ
ス拠点づくりをめざしています
本年末の事業開始をめざして
検討が重ねられますが、県下労

働者の福祉をさらに開花させるために、労福協としての責務を全うする決意です。構成会員である各事業団体の運営、組織人員の減少や競争激化等により厳しい経営状況が続いています。さらに、団塊世代の退職や少子高齢化時代の急来等、取り巻く環境も厳しさを増しつつあります。しかし、「福祉」は「光」であり、何としても守り続けるとともにより明るく照らすための創意を継続しなければなりません。

分組庫濟協連協會館協連
單 大・金 生協療 祉 生 濟会 福
別 勞 医共 福 勞退
合産働 合生者 民働 区
要 連主勞全總県勤県勞地高

せん。

各事業団体の健全な運営と発展に向け、労働組合との連携や組織外への広がり等、労働者福祉を追求する立場からあらゆる連携と支援の努力を傾注してまいります。

本年度も、県下会員組織・組合員の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、より一層のご活躍を祈念申し上げます。げ新春のご挨拶いたします。

2006年度
福祉研修会

大分県労協が主催する「福祉研修会」は、11月14日(火)13時30分からソレイユ7階会議室



で、労働協加盟組織の役員・職員約60名が出席し開催されました。

の主催者挨拶に始まり、来賓として大分県商工労働部・安岡秀美参事の祝辞のあと、大分県福祉保健部・国保医療室主幹・榎

本孝氏の「医療制度改革について」と題する基調講演に入りました。

06年1月20日に開会しました第164通常国会で、医療制度改革関連法案の審議が進められ、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法等多岐にわたりました。

基調講演では、医療制度改革法案の概要・都道府県における医療費適正計画・医療費の動向等について大分県の現状をふまえて説明がされました。

ついで、全労済大分県本部の川辺修専務理事から「全労済大分県本部の現状と課題」と題する活動報告がされました。

活動報告では、生協法改正の動きの中で、①県域規制（生活・経済圏の拡大等に対応して、県域規制を撤廃し区域を自由な設定可能に）②員外規制（定款で

定めることで2割を上限に員外利用を可能に) ③保険業法の一部改正により保険業と同じ条件での金融監督庁の監督下へと検討課題。さらに、07年問題(団塊の世代)における事業への影響として団体生命共済保有契約の24%の契約が減少し複合加入率の高い世代の減少により契約減少が生じることが報告されま

また、全労済の課題として共済代理店が持てるよう働きかけ、たとえば労働金庫と連携が可能になれば利便性も増す事になる。

川辺専務理事は、労働組合の組織率の低下の中で未組織・地域での「こくみん共済」の取り組みを強調され労福協加盟会員へ紹介活動と要請と、2010年の創立50周年には1,2000万口の増を努力目標に取り組み、決意を熱く語られました。

南部労福協 合同研修会

労福協南部ブロック・連合九州ブロック・九州労金・全労済の合同研修会が11月22日、佐賀県で開催されました。

この研修会は、沖縄を含む九州圏内の労福協・連合・労働金庫・全労済の役員が一同に会し、それぞれの団体の情報交換や目下の課題や取り組み方向について認識を深めるために年に一度開催されているものです。

今回は、「安倍新政権と日本の針路」佐賀大学・平地一郎教授「ワンストップサービ

読者からの声

毎号多くの読者の皆さんからご意見ご感想をいただいています。ご紹介いたします。今後とも多くの読者の声をお寄せください。楽しみにお待ちしております。

編集部

●今回始めてクイズに応募しました。今まで、この機関紙を読んでなかったと言うのが本当のところ。隣の席の同僚と話をしている時間が年々減ってきたと感じていました。それ以上に回



授けられた、安倍政権について戦後生まれでありながら、きわめて「戦前」的、抽象的な国家への郷愁の、国家が全面に躍り出る「美しい国へ」核武装論（中川・麻生・教育再生会議（新しい教科書を作る会・経済財政諮問会議・政府税調（石弘光・本間正明・企業減税論）・防衛省構想・NHK放送命令と「国家」「企業」「教育」と安倍政権の陣

スの課題と展望について「地域創造ネットワーク・ジャパ

ン・田中尚輝専務理事の講演を聞き、平地教授からは、安倍政権について戦後生まれでありながら、きわめて「戦前」的、抽象的な国家への郷愁の、国家が全面に躍り出る「美しい国へ」核武装論（中川・麻生・教育再生会議（新しい教科書を作る会・経済財政諮問会議・政府税調（石弘光・本間正明・企業減税論）・防衛省構想・NHK放送命令と「国家」「企業」「教育」と安倍政権の陣

覧物を見ることが減ったのです。これを機に同僚と一緒に拝見したいと思っています。

佐伯市（女性）

●色々な労福協の活動がわかり感謝しています。これからも労働者福祉の向上のために頑張ってください。

国東市（女性）

●市町村合併後、労福協が少々遠くなったような気がします。すが、情報誌で様々な情報を得たいと思います。

日田市（男性）

この他にもご意見ご感想をいただいています。紙面の都合で割愛させていただきます。

労福協クイズ

29

簡単な設問ですので奮ってご応募ください。

①第16回大分県生協大会で「消費者団体訴訟制度」をテーマに講演をした弁護士の名前は？

②県民共済会の2006年度文化講演会にお招きした講師でベストセラー「五体不満足」の著者はだれ？

応募方法

- ・ハガキに、①、②それぞれの答えを書き、住所、氏名、職場名を明記の上送付して下さい。
- ・締め切り2007年1月30日消印有効。
- ・正解者の中から抽選により、10名の方に図書券をお送りします。
- ・当選者発表は、機関紙73号

あて先

〒870-0035 大分市中央町4丁目2番5号
大分県労働福祉会館（ソレイユ）6F
大分県労働者福祉協議会編集委員会宛

◎この機関紙へのご意見ご感想などお寄せ下さい。

第28回（機関紙71号）クイズの答え

① 48,000円
② 11月14日火 13時30分

機関紙71号の第28回クイズに多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10名の方が当選されました。また貴重なご意見ご感想ありがとうございました。

〓敬称略〓
木村 和心（日田市） 黒岩 和子（別府市）
林 啓子（佐伯市） 東本 綾子（大分市）
三浦真由美（大分市） 野村 真弓（佐伯市）
古田 純子（大分市） 出口 京子（宇佐市）
工藤 浩二（由布市） 藤澤 慎一（大分市）

大分地区労福協 第2回定期総会開催 佐伯地区労福協 第31回定期総会開催

大分地区労福協は、10月19日（水）18時から大分市の全労済「ソレイユ」において、また佐伯地区労福協は11月15日（水）19時から佐伯市「保健福祉センター」において、それぞれ定期総会が開催されました。

05年度の活動方針・決算報告と新年度の活動方針・予算（案）が協議され、ともに満場一致で確認されました。

06年の役員体制は以下の通りです。

大分地区労福協	役職	氏名	所属団体
大分地区労福協	会 長	萱島 正一	連合大分地協・大分市職労
	副 会 長	橋下 和美	九州労働金庫大分支店
	事 務 局 長	佐藤 式男	連合大分地協・由布市職労
	事 務 局 次 長	大石 啓文	連合大分地協・NTT労組ネオメイト大分分会
佐伯地区労福協	会 長	戸高 佳到	連合大分地協・新日鉄大分労組
	副 会 長	小野 博文	連合大分地協・大分ふれあいユニオン
	事 務 局 長	上田 徹	連合佐伯地協 議長
	事 務 局 次 長	奥村 隆彦	佐伯地区平和運動センター 委員長
大分地区労福協	会 長	柳井 則幸	九州労働金庫地区推進委員長
	副 会 長	柳井 則幸	全労済地区推進委員長
	事 務 局 長	島田 英生	連合佐伯地協事務局長
	事 務 局 次 長	脇田 康宏	佐伯地区平和運動センター 事務局次長
佐伯地区労福協	会 長	立山 亮治	連合佐伯地協 事務局次長
	副 会 長	坂口 泰利	佐伯地区平和運動センター 事務局次長

新年のご挨拶

全労済大分県本部
大分県総合生協・グループ

理事長 羽明 省三



新年あけましておめでとうございませう。皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は全労済大分県本部・総合生協・(社)労働福祉会館・ソレイユ・(財)やすれぎ園・(株)大分コープ商事の各事業推進に對しまして温かいご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

さて、長期に亘り停滞していた日本経済は、緩やかな回復基調から非製造業や中小企業等にも景況感の高まりが見られ、持続的な景気拡大傾向にあるといわれています。しかしその実態は、業種間・企業間・地域間の格差が拡大し、いわゆる「勝ち組」「負け組」が鮮明となり、多くの国民は景気拡大を実感できなく、格差拡大社会の厳しい環境下に置かれています。

政府・与党は、法人税の軽減措置等企業への優遇政策を図る一方で、所得税や住民税

への軽減措置はここ数年次々と廃止、本年実施される所得税・住民税の定率減税全廃は総額1兆6千5百億円もの増税となり、住民税アップに伴い国民健康保険や介護保険の保険料も連動して引き上げられ、今秋以降には消費税率の引き上げの検討も始まろうとしており家計の負担は益々増える状況です。

公的な社会保障制度等々様々な制度が後退し不安定化していく中で、働く者の生活を保障する共助の役割は極めて大きく、自主福祉運動の重要性がこれまで以上に問われているところだ。

このような中、全労済は本年9月に創立50周年の大きな節目を迎えます。

今後の全労済運動・事業の発展に向けた第一歩として、あらためて「相互扶助」という協同組合運動の原点に立ち返り「組合員の全労済」をスローガンに、新たな価値の創造と全労済らしい社会的責任を果たしながら、助け合いの輪を拡大していくこととします。

大分県本部は全労済統合後4年目を迎えています。この50周年にあわせ特別事業目標を設定し、06年度の事業目

標と併せた推進活動を展開していますので皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

取り巻く情勢はこれまでになく厳しい環境下にありますが、安定的な事業基盤確立のため役員一丸となって頑張つて参ります。

全労済大分県本部・総合生協・各グループへの変わりないご支援・ご協力を節にお願ひ申し上げますとともに、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ年頭のご挨拶とします。

全労済大分県本部 第2回理事会開催

12月18日、理事23名・監事3名の出席をいただき、2006年度の第3回理事会を開催しました。報告事項として、①前回理事会以降の主な会議開催状況報告、②共済事業の普通預金の支店名・口座番号の変更、③西日本事業本部2006年度第1四半期実績報告および県本部予算実績差異報告、④事業(共済・介護)の推移状況、⑤生協法の改正、⑥全労済本部への協議打診「(財)大分県労働者共済会」について、⑦その他についての報告を行い、全員異議なく承認されました。

協議事項では、①当面の推進活動計画(共済・介護)、②その他の他についての提案を行い、全員異議なく承認されました。

2006年度

生活保障プランナー講座終了

第2回目となる「2006年度生活保障プランナー講座」を11月10日(金)・11日(土)の2日間、全労済ソレイユ3階にて開催しました。県下各地区から早朝より多くの方に参加をいただき42名の方に生活保障プランナー講座(全単元8時間)の受講をいただき、修了者40名に修了証を授与することが出来ました。

講義は、前回のこの意見を参考に2日間の受講日程としたこともありましたが、修了後の受講者アンケート集約では「講義内容は理解できたが、もう少し講義時間が長くてよかった」との意見や「今回の講座内容は団体の活動に役立つ」とのご意見が多く寄せられました。



た。一との意見や「今回の講座内容は団体の活動に役立つ」とのご意見が多く寄せられました。

今後の日程

◆第4回理事会の開催
2007年1月30日(火)

た。ご意見は次回開催での参考にさせていただきます。
全労済では、経済環境や社会環境の変化を背景に、組合員のこれからの生活を考えるにあたって、組合員一人ひとりが自分の現状をあらためて認識し自分にあつたライフプラン(保障計画や資金計画等の生活設計)を、組合員自らが立てられるよう、保障分野にとどまらず、生活関連情報の提供や相談活動を通じて幅広くサポートする活動を「生活保障設計運動」と呼び、福祉活動の柱となる活動として展開しています。
さらに、職場団体を中心に日頃から個別組合員の相談に対応されている方々(書記さん・厚生担当・労組執行部)を対象に、ライフプランの考え方や関連知識に関する講座を開催し、相談事例などを通じて日頃の活動にその知識を活かしていただくために、「生活保障プランナー」を養成しています。次年度も開催を予定していますので、参加をお待ちしています。
プランナー修了者は、全国で約6,600名(大分県本部102名)となっています。
(06年11月末現在)

お問い合わせは 全労済 大分県本部 ☎097-548-6031

●旅行事業下期活動計画
 ●2006年度新年会企画
 ●格安航空パック商品の販売
 ●JR券の販売拡大
 ●県内各地の名所
 ●旧跡めぐりとグルメの旅
 ●春の催事の取り組み

●住宅事業下期活動計画
 ●「かたしま台団地」は、建売住宅販売会および注文住宅完成見学会を開催しながら集客を図り、営業活動を行います。
 *1月6日から14日にかけて新春恒例のお年玉特別企画として、現在展示中の建売住宅を特別価格で販売いたします。
 ●リフォームの教宣活動

1、独自事業のあり方
 検討委員会の設置について
 2、事業活動について

●2006年度
 ●第3回理事会開催
 12月18日(月)ソレイユにおいて、2006年度第3回理事会を開催いたしました。協議事項の主な内容は次の通りで、いずれも満場一致で承認いただきました。

明けましておめでとうございませう。
 皆さまには、輝かしい新春を、お迎えの事とお慶び申し上げますと共に、総合生協運動に対する日頃のご協力に厚くお礼申し上げます。本年も住宅・旅行事業の拡大に向けて役員一丸となつて奮闘してまいります。旧年に倍しますご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

こんな工事を行っています。



介護保険リフォームも承ります

建築士・福祉住環境コーディネーターが、自立・介護のお手伝いとしてのリフォームをケアマネージャーさんと相談して施工しています。介護保険適用認定者の方は、保険より補助が受けられます。

お問い合わせは 大分県総合生協 住宅部 リフォーム課

〒870-0035 大分市中央町4-1-32 総合生協会館1階
 TEL097-513-6006 FAX097-538-2456
 E-mail: ikenaga@sogoseikyoku.jp

総合生協がお勧めする 新年会

2007年2月28日(水)まで

特典いろいろ
総合生協旅行クーポン券進呈!!
 (10,000円相当)
 他多数



協定旅館(21社)

別府 シーサイドホテル美松
 竹の井ホテル
 ホテル清風
 ホテルかくすい苑
 ホテル三島閣
 ホテル白鷺
 旅館すえ志
 杉乃井ホテル
 ホテルサンバリーアネックス
 城島後楽園ホテル
 別府湾ロイヤルホテル
 ホテル別府バスター
 つるみ荘
 大瀬リークサイドホテル
 湯布院 御山水館
 日田 亀山亭ホテル
 小京都の湯 みくまホテル
 日田の湯 宿のつや
 天ヶ瀬 湯音の宿 浮羽
 九重 山の家 風楽
 福九郎温泉観光開発

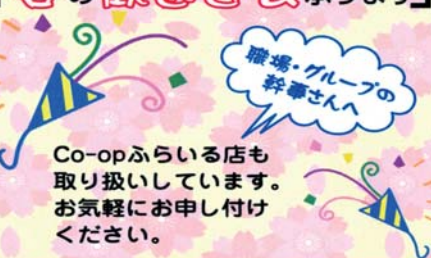
(賛助店)

ふく良グループ
 ふく良別館
 ぶるーむ
 ふく良茶屋
 ソレイユ
 大分ワシントンホテルプラザ
 大分東洋ホテル
 百合(別荘) 他多数

予告

3月～4月
 協定旅館・賛助店共々

「春の歓迎迎会」承ります



詳しくは、旅行センターへお問い合わせください。TEL097-548-5515 FAX097-548-5551 総合旅行業務取扱管理者/上金靖典

ここで偲ぶ先祖の心

いつでも気軽に來れる

立地・環境に恵まれ、高齢者に優しい
 段差のない緑豊かな公園墓地。
 生協が自信をもっておすすめする規格墓。
 安心して求めただけです。

◆大分県総合生協 ◆大分県職員生協 ◆自治労版生協
 ◆大分県学生生協 ◆大分県高校生協 ◆ユープおおい

財団法人 やすらぎ霊園 TEL097-598-0100
 FAX097-598-0101

現地事務所 大分市大字竹中上長谷613-1 URL: http://www.yasuragi-reien.jp/



大分市中心部から約10km。
 所要時間は約20分の距離です。
 近頃は恵まれた自然にあふれた
 すばらしい環境です。



大分県総合生協が贈る、新春お年玉企画!!

グリーンウッドかたしま「1-2-4モデルハウス」を展示期間終了につき

28,777,000円で
 お譲りします!(土増・庭増・外増
 消費税込み)

●お申し込み要項 ●申込み受付期間:2007年1月6日(土)～2007年1月14日(日)12:00
 ●お申し込み方法:グリーンウッドかたしま台現地販売センターにて必着事項をご記入の上、お申し込みください。●お申し込み多数の場合は抽選となります。2007年1月14日(日)13:00より、お申し込み者全員同席の上、抽選をおこないます。●詳しくはグリーンウッドかたしま台販売センターへお問い合わせください。●ご入居後、モニターとしてご協力をお願いする事が
 ございます。●新春は1月4日より営業いたします。●抽選結果は別途申し受けます。●平成18年3月完成



大分県総合生協 生活協同組合
 大分市中央町4-1-32 ☎(097)548-5577
 ●お問い合わせは
 グリーンウッドかたしま台販売センター
 ☎0120-557-887 水曜日
 TEL(097)567-2300 定休
 ホームページアドレス
 http://www.sogoseikyoku.jp/katashimadai/

新年のご挨拶

財団法人 大分県勤労県民共済会

理事長 亀山 哲



新年明けましておめでとう
ございます。旧年中は、県民
共済会の事業に多大なご支援・
ご協力を賜り、厚くお礼申し
上げます。

特に永年の懸案事項でした
介護年金共済「アンド」の制
度見直し、それに伴う移行作
業では、ご理解とご協力をい
ただき、ありがとうございます
ました。移行率22.3%と予想を大
きく下回りましたが、逆ザヤ
現象を解消した健全な制度に
することができました。

また、昨年末の二〇〇六年
度文化講演会「乙武洋匡ト
ークショーとYumiフル
ートの夕べ」には多くの方々にご
来場いただいたき本当にありが
うございました。

二〇〇六年度は、団体向け
の「医療扶助共済」、退職者向
けの「移行医療共済」に加え
て、新介護共済「陽だまり」
と新たに開発した一般向けの
「新医療共済」を四本柱に共
済事業を推進する予定でした

が、二〇〇六年四月施行の「保
険業法の一部改正」と六月に
可決された「公益法人改革整
備法」の関係で新規二共済の
販売を凍結しています。

県民共済会は、この法案で
最長二〇一三年までに、「少
額短期保険業者」として一年
満期、入院保障八十万円限度
の少額短期共済のみで共済事
業を続けていくのか？それと
も別組織を設立して、ほぼ現
行どおりの制度で保障を守り
共済事業を続けるのか？それ
とも他組織と事業統合または
契約移転を行い、共済事業を
廃止するのか？大きな岐路に
立っています。

「契約者の保障をどう守るの
か」「財団をどう守るのか」「職
員の雇用をどう守るのか」今
後の県民共済会の進むべき道
について組織検討委員会・理
事会で慎重に検討しています。
取り巻く環境は相変わらず
厳しいと思われますが、役職
員一丸となって、これまでど
おり県民共済会ならではの「き
め細かな、地域に根ざした」
共済運動に取り組みます。

みなさまの、旧に倍するご
支援・ご協力をお願い申し上
げまして、新年のご挨拶とい
たします。

2006
年度

文化講演会を開催しました

県民共済会は、毎年公益福
祉事業の一環として、文化講
演会を開催しています。

今年度は、スポーツジャー
ナリストでベストセラー著者
でもあります「乙武洋匡」さ
んとフルート奏者の「Yumi
i」さんを迎え「乙武洋匡ト
ークショーとYumiフル
ートの夕べ」と題して、下記の
内容で開催しました。

また、応募期間時点で、多
数のご応募いただき、急遽会
場を変更しました。



■ 日 時 十一月二十九日
■ 場 所 「グランシアタ」
■ 入場料 無料
■ 参加者 約一七〇〇名

され、トークショー最後に行
った質問コーナーでは多くの
ご質問をいただき、当初予定
の終演時間を越えた内容とな
り、大盛況のうちに終了する
ことができました。

多くの方にご来場いただき、
誠にありがとうございました。

団体医療 扶助共済



月掛金330円で病気入院日額2,000円+手術保障

団体加入だから少ない掛金で「病気入院・病気手術」を保障します。

保障内容	20口当り	こんなときお支払いします	お支払いの限度
病気で入院したとき ※1日目から	日 額 2,000円	①病気の治療を目的として入院されたとき ②日帰り入院からお支払いします	1回の入院または1共済期間に つき最高180日まで
病気です手術したとき ※手術の種類に応じて	1回につき 1・2・4万円	①病気の治療を目的として所定の手術をし たとき（入院日額の5・10・20倍）	一部の手術を除き回数は無制限
月払掛金	330円		

※条件により最高100口まで加入できます。

第16回 大分県生協大会開催

県生協連に加盟する12の生協は、生協運動の発展と会員相互の交流を深めるために、「第16回大分県生協大会」を県生協連主催、生協総合研究所後援で10月11日(水)全労済会館ソレイユにて開催しました。

今回は、講演として「消費者団体訴訟制度」をテーマに弁護士井田雅貴氏の講演をいただきました。



この日は、県下の生協組合員や役員など約102名が参加。大会は自治労大分県本部信用販売生活協同組合の河原伸明さんが総会司会となり、大会が進められ先ず、主催者として太田専務理事が「生協法制定」を記念して毎年開催されています。生協強化の一つと

して昨年から生協県連主催、生協総合研究所後援で開催しています。

「最近の消費者を取り巻く情勢は、振り込め詐欺や巧妙化した新規の詐欺事件が増えており消費生活問題は後をたえません。さらに食の安心・安全問題も県民にとっても深刻な問題です。私たち生協の組合員は、賢い消費者としてパニックに陥らない対応をしっかりとしなければなりません。今日の講演は時を得たものであります。」と挨拶しました。講演では、弁護士の井田雅貴氏より「消費者団体訴訟制度」と題して1時間半ほどの講演をお願いしました。

講演では、消費者団体訴訟制度の特徴として、①個人ではなく、団体が事業者を訴える。②事業者の特定の行為を差止める。(損害賠償は今のところ不可)、③同一事件は全国で一回のみ、(悪い点)団体が訴訟するメリットとして、①団体が自分の判断で訴訟を起こせる。②被害者の権利行使が容易になる。③団体が地域を越えて活動できる。差止められる行為は、①消費者契約法に違反する事業者の勧誘行為。(不実告知・不退去・

退去妨害)、②消費者契約法に違反する契約事項、訴訟提起資格団体の要件は、①人的資源、経済的資源確保の必要性、②各地域毎に団体を結成することの必要性、③法の要件を充つ団体のみ、なぜ団体訴訟制度が必要かは、①契約への勧誘行為、不当な約款使用に基づく消費者被害の是正、②個々人の自覚を促すだけでは、被害の拡大を防止できない等の制度の概要について話されました。

引き続きの意見交換が行われ、「団体訴訟をするには、個人がその団体に所属していなければならぬのでしょうか」「全国的な動向はどうなのか」「全国の県でとりくまれているのか」「予算はどのくらいかかるのか」等の意見がありました。

最後に大分県労働者総合生活協同組合の平野知子さんが、「私たち大分の生協は、組合員一人ひとりの願いを大切に、地域や職場、学園に深く根ざした活動を進めてきましたが、これからも食の安全・安心、平和や環境問題、福祉や医療・介護問題等、課題は山積しているが、協力和協同を強め組合員自ら、これからの運動と活動を成功させましょう」と大会アピールを読み上げて全員で確認して、大会は終わりました。

2006年度

役職員研修会開催

大分県生協連に加盟する、県下12生協の役職員の代表80名が参加して、「役職員研修会」が11月22日(水)、大分市の全労済会館ソレイユにて開催しました。



講演は、千葉コープ理事長スタッフ兼千葉県生協連災害対策委員会委員長の水島重光氏から「災害対策」と題して話されました。

講演の内容は、①自然災害(風水害・地震災害) 事件事故災害等、②特に予知できない地震は起きると被害甚大で暮しや事業の再建困難に墜ちる、③この発想から災害対策が始まる、④域内災害時に組織に求められる課題がいくつかある、⑤事業継続再開(BCP)計画がそろそろ要求されている頃か? ポイントは5つ、⑥最も大切な顧客である組合員に向けての「減災活動と支援企画」が考えられているか、⑦行政や対外組織との連携は重要なポイント、誰が窓口として人を当てるのか、⑧地域では生協以外の組織や団体とも重なり合うことで地域の安心づくりはよくなる、⑨日頃からの自助と共助と公助の事前の備えについて、系統だったお話をいただきました。

総会司会者となって、始まり、主催者を代表して足立県生協連会長が「景気は良くなっているが、実感はなく生協ではきびしいものがある。県連では生協法改正や消費者団体訴訟制度への取り組みをおこなっており、今回の研修会は、これらの課題とは別に、何時起こるかもしれない災害対策について、事前での対応が重要であることから開催の基調とした」旨のあいさつがありました。

引き続き来賓のあいさつで、大分県生活環境部県民生活・男女参画課県民生活班主任の太平悟氏、日本生協連合会九州地連事務局長の丹敬二氏、大分県議会議員の小野弘利氏からいただきました。

「狂犬病より こわい？」もの

勤労者医療生活協同組合
理事長 なぎら つよし



新年おめでとうござい
ます。

正月から縁起の悪いお
話をします。

最近、外国で狂犬病に
なった方が二人帰国しま
した。私が子供の頃は、
狂犬病は大変こわい（百
%死亡する）病気でしたが、
国内ではやがて撲滅され、
数十年一例も出ていません。
心配ありません。

しかし、この間に「犬
に咬まれた。大丈夫ですか？」
という患者さんを百人以
上みたと思います。深い
キズ、汚いキズの場合、
化膿して重症になった方
もありました。

母は犬を飼ってしまし
たが、私が犬を余り好き



ではなくなったのは、こ
うした犬に咬まれた患者
さんをみてきたためかも
知れません。あるいは、
私自身が犬に好かれな
いタチなのでしょうか。

国内では狂犬病は全く
こわくありませんが犬咬
傷は軽くみてはいけません。
それにしても、愛犬の予
防注射をお忘れなきよう
……さらに、東南アジア
などでは犬に咬まれない
ように。

今年が皆様にいい年で
ありますように。

国際シンポジウムで発表

—— 難病医療へ一石を投じる ——

11月26日から12月2日に横
浜で開催された「第17回ALS
S/MND国際シンポジウム」
で大分協和病院の山本副院長
が研究発表を行いました。

MNDとは運動神経疾患の



ことで、ALS（筋萎縮性側
索硬化症）はその中でもっと
も重篤な疾患となっています。
今回は、「気切人口呼吸に
おける自動吸引装置の開発」
というテーマで発表し、卵の
黄身を傷つけない卵白だけが
吸い取られる実験中のビデオ
映像には会場から驚きの声
が上がりました。

シンポジウムには多くの国
の代表が参加していますが、
日本のように人口呼吸器を使っ
て積極的に在宅療養に取り組
む国は少なく、今回の発表は
難病医療の考え方に一石を投
じることになったようです。

ショート・トピック

いつまで喫煙しますか？

タバコの税金が上がって禁煙する人が増え
たそうです。禁煙した方の約6割が値上げを
主な理由に挙げていますが、禁煙の治療にこ
の4月から健康保険が適用されるようになった
のも大きいかもしれません。

タバコの害を測定するのに禁煙係数という
のがあります。例えば1日20本で20年吸う
人は20×20で400になります。

この400を越えると肺癌にかかる確立が飛
躍的に上がることが統計的に知られています。
1日5本なら80年かかることになり、大し
たことはないと考えてはいけません。

タバコは肺癌だけでなく血圧や心臓などの
病気に大きな影響を与えます。1日に5本、
10本なら意思の力で止めれると思いますが…。

ミニバレーボール 大会開催

10月末になると「今年の開
催日はいつですか」という電
話が掛かってきます。地域の
組合員活動として冬季に続け
てきた大分協和病院ミニバレー
ボール大会は、今年で17回を
数えることになりました。大
会が続いているのも地元勤労
協の方々や体協の方の協力が
あつてのことです。

12月3日に地元の植田南中
東植田小の体育館をお借りし
て開催した今年の大会には、
26チームの約300人が参加して
盛大に開催されました。



この大会は、県生協連合会
主催の県大会へ医療生協代表
で出場する
ための予選
も兼ねてい
て、今年も
熱戦が繰広
げられまし
た。因みに
病院チーム
も出場しま
したが、今
年も大
きな力に跳ね返され、練習
不足を反省して来年への雪辱
を誓い合うこととなりました。
結果は、日岡レビンが2年
連続優勝して、こちらは県大
会での雪辱をめざすことにな
りました。

●優勝：日岡レビン

●準優勝：リバースふじ

●3位：くれよん

新年のご挨拶

九州労働金庫大分県本部

県本部長 南 征一郎



新年あけましておめでとう
ございます。

昨年も労金運動が確実に前進、拡大できたことは、会員団体や運営委員会・推進委員会の役員をはじめ多くの労働者のご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

地区ブロック別研修会も三年連続で開催して、「しあわせ安心プラン」ラッシュヤーズキャンペーン」取組みを全県

下一斉に推進して成果を着実に上げることができました。

また、働く者の福祉金融機関として、サラ金等のグレーゾン金利撤廃の一千万人署名に取組み、法改正が決定しました。

本年も労金が提唱する「しあわせ創造運動（労働者の「生活設計」「生活防衛」「生活改善」）の更なる充実化を図り、この運動のメイン商品の「しあわせ安心プラン」の契約拡大と高金利ローン利用防止策の民間保証会社活用等により家計の健康作りに貢献しながら「より「安心・安全」なろうきん基盤の確立を目指して

まいります。

更に、団塊の世代の退職期がいよいよ到来することになり、現在の労金運動の基盤作りから拡大、発展に尽力していただいたことに感謝申し上げると共に「ろうきん友の会」にご加入され、ライフパートナーとしてお付き合いをお願いいたします。

なお、今後も若い組合員の労金運動参画として、フレックシャーズキャンペーンやフットサル企画等の取組継続を行うため、互助会や社員会といった団体にも働きかけて、未組織労働者の会員加入を目指します。

「オラが労金」へ昨年同様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様にとつて、今年も輝かしい一年でありますよう祈念して年頭のご挨拶いたします。

今年も頑張るぞ！

ローンセンターおおいた

猪又 靖

新年あけましておめでとう
ございます。

旧年中は皆様からご利用を頂き、誠にありがとうございました。

私もローンセンターおおいたも二〇〇六年十一月九日にローン専門家集団として開設され、四年間が経過しました。

この間住宅ローンが三六〇億円の融資実行となり、ロー

ン専門店として広くご相談、ご利用がされて、会員構成員や組織の無い方々等、正に働く人の生活設計応援の役割を担ってきました。

また、二〇〇五年十二月からは住宅ローンのみならず、教育ローン・カーローン・フリーローンや多重債務解決等あらゆるご相談に对应して、資金面のお手伝いをさせていただいています。

更に、土・日曜日営業や平日窓口も午後7時まで営業してお仕事で多忙なおお客様がいつでも安心してご来店いただけるよう努め、資金面の

サポーターとして日夜奮闘していますので、資金が必要な方、資金作りやお金に関することで悩まれている方等は、ローンセンターおおいたへお気軽にお立ち寄りください。

最後に、今年の干支は亥で、行動は「猪突猛進」行動するまでは周りの状況や環境を慎重に判断する用心深さを兼ね備えた家族を大切に動物です。

私の名前も猪又、干支のように頑張りますので、ご来店及びご利用をよろしくお願い申し上げます。

ローンのことなら、 ろうきんローンセンターおおいたへ お気軽にどうぞ！

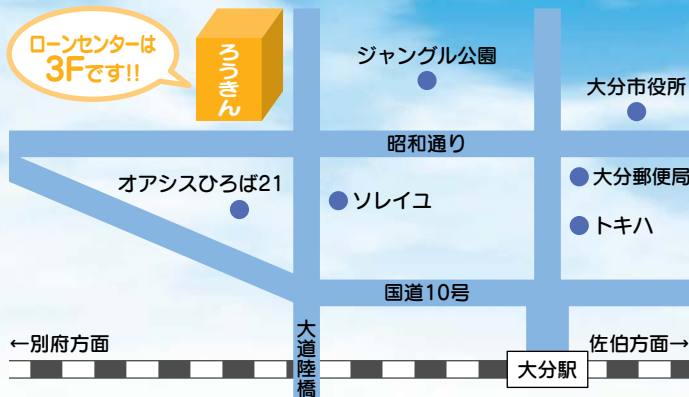
ろうきん ローンセンターおおいた

営業時間

平 日（月～金） AM10:00～PM7:00
土・日 AM10:00～PM5:00
祝日は閉店（但し、土・日の場合は営業致します）

ご連絡先

TEL097-536-6366 FAX097-537-2591
〒870-0036 大分市寿町1番3号
九州労働金庫 大分支店 3階



お問い合わせは 九州ろうきん おおいた 0120-567863